



令和6年度 普賢寺小学校学校経営方針

本校は昨年度、創立 150 周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。平成 19 年度より小規模特認制度をスタートさせ、京田辺市全域から希望する児童が通学できるようになり、児童数が一定数保てるようになった。また平成 27 年度には学校運営協議会（愛称：なのはな委員会）が設置され、「地域を誇れる子ども」「自分の学校を誇れる子ども」の育成に取り組んでいるコミュニティースクールである。

児童の実態と地域の課題に即した教育課程を編成し、個に応じた教育活動を推進するとともに、自ら将来の姿を描きながら主体的に学習する児童を育成する。また、人を思いやり、多様な人とつながり、ともに育ち、たくましく歩み続けることのできる児童の育成に努める。

そのために、児童の自己肯定感、コミュニケーション能力、自己表現能力を高めるとともに、人を大切にする優しさと思いやりのある心を育む指導を行っていく。

◇ 学校教育目標

人と豊かにかかわり 進んで学びあう 普賢寺っ子

◇ めざす児童像 ～知・徳・体の調和のとれた児童の育成～

- (1) 進んで学び、よく考える子
- (2) 仲良く、協力し合える子
- (3) ねばり強く、最後までがんばれる子

◇ めざす学校像 ～信頼される学校～

- (1) 児童・教職員が活気あふれる学校
- (2) 少人数ならではの魅力ある学校
- (3) 地域とともに歩み続ける学校
- (4) 学校・家庭・地域で感謝と感動を共有できる学校

◇ めざす教職員像 ～連携と協働～

- (1) 自らの資質を高め、社会の変化やニーズに柔軟に対応する教職員
- (2) 児童一人一人を理解し、組織体制で児童の成長を見守る教職員
- (3) 教員としての使命感の中に、やりがいを感じる教職員
- (4) 地域の人材を活用し、特色を生かした授業づくりを推進する教職員

【学校経営方針（中期経営目標）】

- (1) 学校の特色を生かした教育活動を推進する。
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる。
- (3) 多様性を認めあう集団作りを行う。
- (4) 粘り強く挑戦できる心と身体の育成に向けた教育活動を推進する。
- (5) 教職員の連携・協働により児童を多面的に支援できる組織体制を確立する。
- (6) 安心・安全で豊かな教育環境及び職場環境づくりに努める。
- (7) やりがいを感じ、支え合える職員集団づくりを目指す。

【学校経営の重点（短期経営目標）】

(1) ～知・徳・体の調和のとれた児童の育成～ のために

- ① 「のびのびタイム」を活用して、子どもたちが多様性を認め合い、社会的自立につながるような取組を行う。
- ② 障がい者施設、幼稚園等と連携を図り、多様性を認め合う心を育む。
- ③ 体育の時間を中心に、体を動かす楽しさを味わい、より運動に親しむ習慣を身につけ、体力の向上を目指す。
- ④ 地域文化を継承するために地域の方を講師として招き、地域学習の充実を図る。

(2) ～信頼される学校～ になるために

- ① 児童会（運営委員会）の取組を活性化させ、一人一人がいきいきと輝ける活動にする。
- ② 地域と連携し、体験活動のみならず協働的な学びにつながるような様々な取組を進め、学校・地域双方の活性化を図る。
- ③ 縦割りグループやなのはな委員会の取組で、自己有用感や上級生への憧れ、相手を思う気持ちを育成する。
- ④ ふげんじっこ大運動会、雲上大遠足などの行事に地域の方々を招待し、子どもの頑張りや笑顔を届けられるような機会を増やす。

(3) ～連携と協働～ で教員の働きがい改革を推進するために

- ① ユニット担任制・教科担任制の導入により、指導内容の工夫・改善をさらに進め、多面的に児童に対する理解を深めると共に教員の資質能力の向上に努める。
- ② 児童の支援体制について、指導部が中心に支援していけるよう、組織体制の改善・充実を図る。
特に特別な支援を要する児童の支援体制を一層強化する。
(通級指導教室の開設、150ルームの活用など)
- ③ 職員が仕事にやりがいを感じながらワークライフバランスも意識できるような働き方改革を推し進める。

(4) 魅力ある学校となるために

- ① なのはな委員会やPTAと連携し、地域人材の有効な活用を進める。
- ② ホームページや学校だより「おちばすぎ」で学校の取組を多く発信する。

【重点研究】

特別支援の視点に基づいた指導方法の研究

～ユニバーサルデザインを基盤として、

主体的・対話的で深い学びを実現する授業作り～